

2014 年度
「RM会員アンケート調査」

2014 年7月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<http://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

2014 年度「RM 会員アンケート」調査

2. 調査方法

インターネット調査

3. 調査エリア

全国

4. 期間

2014 年5月 29 日(木)～6月 29 日(木)

5. 調査対象者

リスクモンスター会員

6. 有効回収数

797 サンプル

1. 調査結果

[1] 「RM 会員アンケート」／業種別景況感 DI

リスクモンスターの会員企業に対して、景況感に関するアンケート調査を行った結果、「景況感 はよくなった」と回答した人の割合と「景況感 は悪くなった」と回答した人の割合の差(DI)は、プラス 33.4 となった。

業種別に見ると、「宿泊業、飲食サービス業」「複合サービス業」がプラス 100 で第 1 位、「不動産業、物品賃貸業」がプラス 57.5 で第 3 位となった。以下、第 4 位に「情報通信業」(プラス 44.6) 第 5 位に「金融業、保険業」、「その他のサービス業」(プラス 44.4)、第 7 位「建設業」(プラス 38.7)と続いた。今回の調査では、DI がマイナスとなる業種はなく、総じて景況感に改善傾向がみられるものの、「電気・ガス・熱供給・水道業」や「医療、福祉業」などの特定の業種においては、0 となり、他業種に比して景況感の改善が見られない結果となった。(図表 A)

[2] 「RM 会員アンケート」／業種別景況感 DI

景況感 DI を地域別に見ると、第 1 位「四国」(プラス 100)、第 2 位「関東」(プラス 36.8)、第 3 位「近畿」(プラス 34.1)となり、以下第 4 位「中部」(プラス 25.3)、第 5 位「北海道」(プラス 25.0)、第 6 位「東北」(プラス 22.2)、第 7 位「中国」(プラス 19.2)、第 8 位「九州・沖縄」(プラス 9.7)となった。業種別景況感 ID と同様に、DI がマイナスとなる地域はなく、総じて景況感の高揚がみられるが、関東や近畿などの都市圏、または東日本に比し、西日本の方が DI 値が小さいことから、景況の高揚感にも地域差があることがわかる結果となった。(図表 B)

[3] 「RM 会員アンケート」／予算の変動と問題債権の発生

RM 会員における、昨年度と今年度の与信管理に対する予算の増減を調査したところ、「変わらない」が 69.8%と最も多く、次いで「予算が増加した」が 20.6%、「予算が減少した」が 9.6%という結果になった。

また、予算の変動に対して、近年の貸倒れ・回収遅延の発生状況を合わせて調査したところ、「貸倒れまたは回収遅延が発生した」企業では、24.5%が「予算が増加した」と回答したのに対して、「貸倒れおよび回収遅延は発生していない」企業では、16.8%と低水準となった。さらに回収遅延が発生した企業においては、「全額回収できた」企業における「予算が増加した」と回答した割合は、10.7%と極めて低い水準であったのに対して、「現在徐々に回収している」と回答した企業では 33.8%、「殆ど回収できていない」と回答した企業では、33.3%と、大きな乖離が生じた結果となった。

貸倒れ・回収遅延が発生していない企業や、回収遅延が発生しても全額回収できた企業においては、債権管理に対する警戒感が薄れている可能性があることを、本調査では示しているものと考えられる。(図表 C)

[4] 「RM 会員アンケート」／予算変動の理由

RM 会員における、昨年度と今年度の与信管理に対する予算の増減理由を調査したところ、「予算が増加した理由」としては、「新規の取引先を取引する機会が増えたため」という回答が最も

多く、その他には「ファクタリングなどを活用した保全の強化を図るため」、「与信管理を新たに取り組むこととなったため」「貸倒れが発生したため」という回答が見られた。(図表 D)

一方で、「予算が減少した理由」としては、「コスト削減のため」という回答が最も多く、その他に「取引先が減少したため」、「リスクモンスターに切り替えたことで従来よりも少ない金額で管理できるようになった」という回答がみられた。(図表 E)

2. 総評

[1]にて述べているとおり、今回の調査において、RM会員企業における景況感DIはプラス33.4となった。日銀が6月1日に発表した全国企業短期経済観測調査(短観)において、業況判断指数(DI)が大企業製造業でプラス12、同非製造業でプラス19であったことを考慮すれば、非常に高い水準であることがうかがえる。

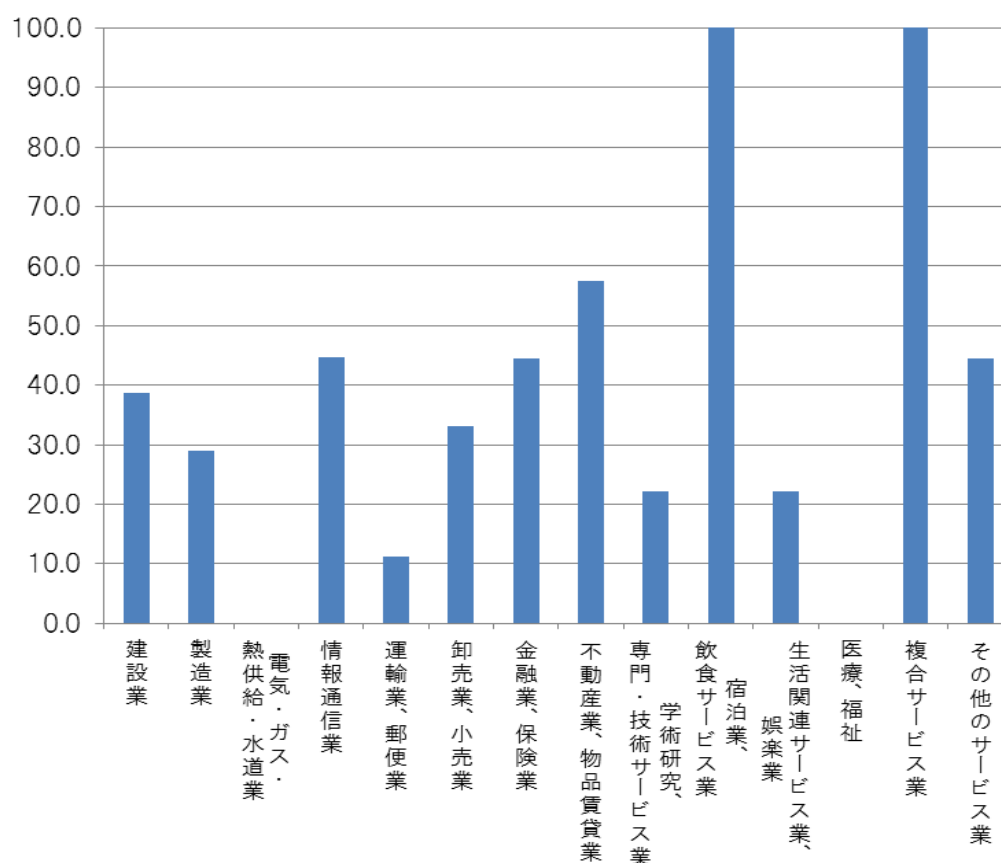
その背景として、RM会員企業には、企業経営において与信管理を重要な戦略の一つであると位置づけている企業が多いことが考えられる。実際、[3]で記したとおり、RM会員企業においては、実に20.6%の企業が昨年度よりも与信管理に対する予算を増加させている。通常、景況感が高まれば、企業は攻めの経営をするために、与信管理の意識を下げてでも攻勢に出ようとする傾向があるが、RM会員においては、取引先の増加に伴い取引リスクも増大するものと捉えて、与信管理のための予算を確保しているものと考えられる。これによって、収益の獲得の確実性が増し、一層の景況感の向上に繋がっているものといえよう。

与信管理の最終目的は、「貸倒れが発生した、しなかった」という一喜一憂ではなく、安定的に収益を確保し、企業の収益力を強化していくことにある。今後も、今回のような調査を継続的に実施することで、リスクモンスターの会員であり、与信管理に高い意識を有する企業においては、他の企業よりも業況が芳しくなることを証明していきたい。

図表A 2014年度「RM会員アンケート調査」／業種別景況感DI

(n=797)

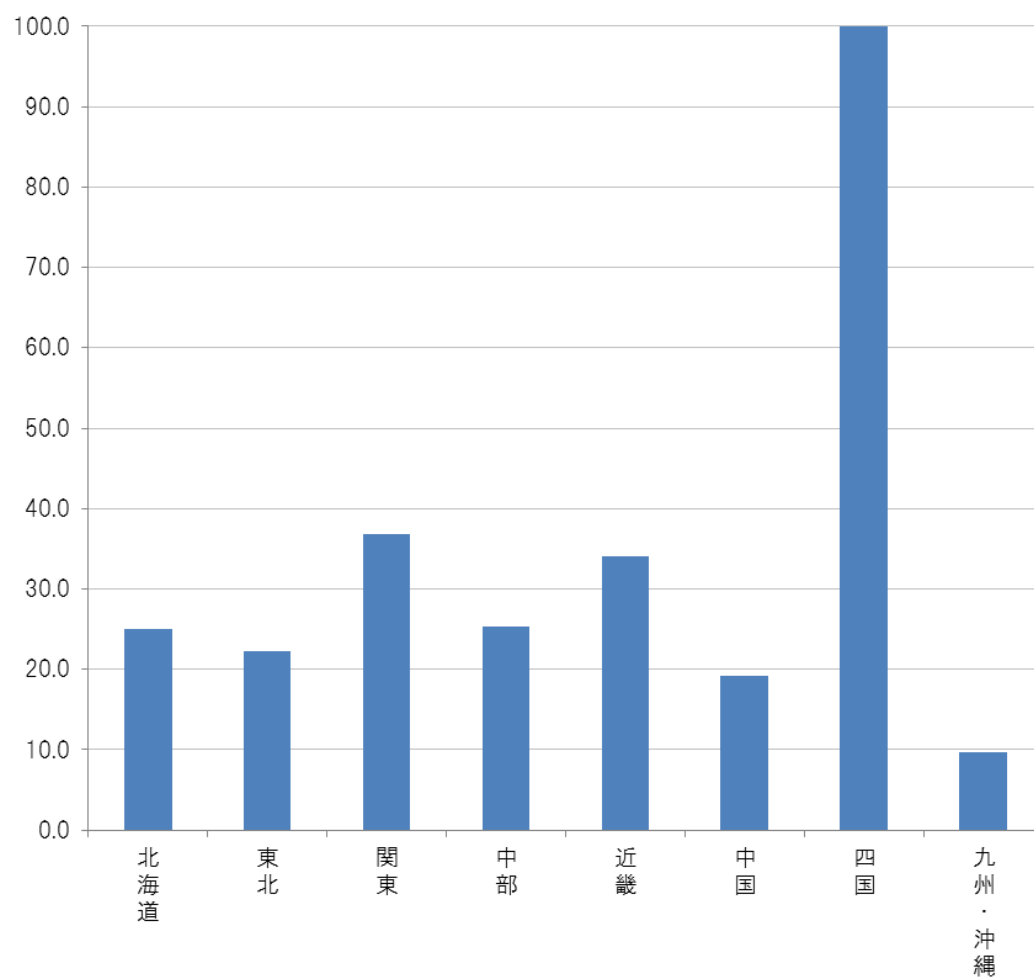
	景況感は良くなった	景況感は悪くなった	景況感DI
全体	44.4%	11.0%	33.4
建設業	48.4%	9.7%	38.7
製造業	42.2%	13.3%	28.9
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	0.0%	0.0
情報通信業	55.4%	10.8%	44.6
運輸業、郵便業	30.6%	19.4%	11.1
卸売業、小売業	42.4%	9.3%	33.1
金融業、保険業	50.0%	5.6%	44.4
不動産業、物品賃貸業	57.5%	0.0%	57.5
学術研究、専門・技術サービス業	40.0%	17.8%	22.2
宿泊業、飲食サービス業	100.0%	0.0%	100.0
生活関連サービス業、娯楽業	22.2%	0.0%	22.2
医療、福祉	0.0%	0.0%	0.0
複合サービス業	100.0%	0.0%	100.0
その他のサービス業	55.6%	11.1%	44.4



図表B 2014年度「RM会員アンケート調査」／ 地域別景況感DI

(n=797)

	景況感は良くなった	景況感は悪くなった	景況感DI
全体	44.4%	11.0%	33.4
北海道	33.3%	8.3%	25.0
東北	44.4%	22.2%	22.2
関東	46.5%	9.7%	36.8
中部	39.2%	13.9%	25.3
近畿	44.4%	10.3%	34.1
中国	34.6%	15.4%	19.2
四国	100.0%	0.0%	100.0
九州・沖縄	29.0%	19.4%	9.7



図表C 2014年度「RM会員アンケート調査」／ 予算の変動と問題債権の発生

(n=665／単一回答)

	予算が増加した	変わらない	予算が減少した
全体	20.6%	69.8%	9.6%
貸倒れまたは回収遅延が発生した。	24.5%	63.5%	12.0%
貸倒れが発生した。	22.9%	64.7%	12.4%
重大な貸倒れが発生した。	22.2%	66.7%	11.1%
軽微な貸倒れが発生した。	23.0%	64.6%	12.4%
回収遅延が発生した。	27.8%	61.1%	11.1%
全額回収できた。	10.7%	82.1%	7.1%
現在徐々に回収している。	33.8%	52.9%	13.2%
ほとんど回収できていない。	33.3%	58.3%	8.3%
貸倒れおよび回収遅延は発生していない。	16.8%	75.8%	7.4%

図表D 2014年度「RM会員アンケート調査」／予算の増加理由

	選んだ理由
予算が増加した	不良債権が発生したため
予算が増加した	ポートフォリオを初めて利用した
予算が増加した	貴社サービスの利用を開始したから。
予算が増加した	倒産の防止と毎月与信限度枠の見直し会議を実施。
予算が増加した	与信調査強化のため
予算が増加した	取引先増加
予算が増加した	リスクモンスターのサービス利用を開始したため。
予算が増加した	景気の回復に伴い、与信額の見直し(増額)先が増えたため。
予算が増加した	リスクモンスター社と新規契約締結
予算が増加した	取引先数の増加による
予算が増加した	ファクタリング分が増加した。
予算が増加した	信用調書を利用する機会が増加したため。
予算が増加した	業績悪化による個別企業の調査費用が増加した為。
予算が増加した	会社合併により取引先が増加したため。
予算が増加した	新規取引先の調査
予算が増加した	前年度の与信管理は親会社に依頼していたため
予算が増加した	新規契約事項発生。
予算が増加した	格付すべき企業が増えたから
予算が増加した	信用調査サービスを新規に導入したため
予算が増加した	調査を必要とする得意先が増えたため
予算が増加した	TSR取得回数増加要因
予算が増加した	新規の契約数の増加
予算が増加した	海外取引先候補企業の調査が増加したため
予算が増加した	貴社のクラウドサービスを追加導入するため。
予算が増加した	継続取引先の与信管理の強化
予算が増加した	与信調査対象増
予算が増加した	与信管理規程を見直し、リスクモンスターのサービス及び海外企業調査レポートを今回新たに導入した
予算が増加した	取引先が増えたことによる調査件数が増えたこと。焦げ付きが発生したこと。信用保証を実施したこと。
予算が増加した	東商リサーチのレポートが必要な顧客が多かった
予算が増加した	取引先が増えたこと、与信管理をより厳しく行ったこと。
予算が増加した	対象会社が増加した為
予算が増加した	様々な状況(回収遅延、与信超過、取引条件変更、本社移転など)に応じて都度、e-与信ナビを取得し始めたため。
予算が増加した	取引先が増え、与信管理がさらに重要視された
予算が増加した	新規の取引先を増やそうとしているため
予算が増加した	新規取引先、取引額の増加
予算が増加した	対象とする調査対象取引先の増加
予算が増加した	与信管理をより徹底していくという社内方針が出された為、新規顧客で取引の可能性のある企業については、与信調査をすることになった。
予算が増加した	e管理ファイル枠拡大のため
予算が増加した	取引先が増加した為
予算が増加した	信用調査書取得件数の増加
予算が増加した	調査件数の増加を予定
予算が増加した	格付け取得先が増えた。
予算が増加した	積極的な新規取引の増加、引き合い数の増加
予算が増加した	新規取引先が増えた。
予算が増加した	取引先の増加が主な原因です。
予算が増加した	調査対象の増加⇒現取引先の状況確認が出来ていなかったため、社内ルールの再徹底を図る
予算が増加した	もつと与信管理を高めるため
予算が増加した	新規取引先増
予算が増加した	与信限度額の増加
予算が増加した	焦付きが発生し、与信管理の見直し
予算が増加した	数年ぶりに回収不能債権がでたため
予算が増加した	自社販売業務フローにとりいれた点
予算が増加した	海外の取引先の与信管理が増加する予定であるため。
予算が増加した	調査頻度の増加
予算が増加した	新規取引が増えたため与信確認が増えたため
予算が増加した	与信保険の金額が増加したから
予算が増加した	取引先信用限度見直しによる調査の増加のため
予算が増加した	L/C管理の取引が増えた
予算が増加した	リスクモンスターを本格導入したから。
予算が増加した	保険の新規加入

	選んだ理由
予算が増加した	与信調査の回数が増加したため
予算が増加した	新規ビジネス立ち上げのため。
予算が増加した	御社へのお支払いが増加しました
予算が増加した	ファクタリング料金
予算が増加した	取引先の増加による。
予算が増加した	債権保全の強化
予算が増加した	信用保証保険付保
予算が増加した	新規取引の増加
予算が増加した	他社サービスを新規で利用した為
予算が増加した	リスクモンスターの格付けをまとめて行ったため
予算が増加した	取引社数の増加に伴うもの
予算が増加した	TSRの調書代、信用録購入
予算が増加した	新規取引先が増えているため
予算が増加した	取引先増のため
予算が増加した	保険を導入
予算が増加した	取引先の増加
予算が増加した	業績拡大のため
予算が増加した	建設関係の業者の確保が難しく、これまで取引していた業者以外にも下請・元請が増えているため。
予算が増加した	社内格付基準の運用を厳しくした。
予算が増加した	与信管理機能強化のため
予算が増加した	情報取得の社数を2社から3社に増やした
予算が増加した	取引先の企業レポートを収集したから。
予算が増加した	与信管理の強化
予算が増加した	事業規模拡大による
予算が増加した	取引先増のため
予算が増加した	調査費用が増えた。
予算が増加した	拡販
予算が増加した	管理先が増えた
予算が増加した	調書の取得数が増加する見込み
予算が増加した	営業管理規則の見直しを行い、与信管理等より厳格に実施するようになったため。
予算が増加した	取引先の増加
予算が増加した	従来は与信管理を行っておらず、2014年から初めて開始しているため。
予算が増加した	新規顧客の受注機会が増えた為。
予算が増加した	内部統制も厳しくなっており得意先との取引に関するの反社および与信についても規程通りに行う必要があるため、若干ではあるが増加した。
予算が増加した	与信管理強化により企業調査の頻度が増加し、調査内容も詳細なものを求める傾向が強くなったため。
予算が増加した	与信対象件数の増加
予算が増加した	件数が増えた
予算が増加した	頻りに調査するようにしたから
予算が増加した	信用情報、登記情報取得回数を増やし再取得までの期間を短くしている
予算が増加した	今まで何もしていなかった
予算が増加した	システム導入
予算が増加した	業績上昇に伴う歩合給の部分が増加した
予算が増加した	定期的な審査と判断の為
予算が増加した	保険等の必要枠が上昇したため。
予算が増加した	大口の新規取引開始を予定
予算が増加した	与信管理の厳格化
予算が増加した	御社サービスの基本料が以前使用していたサービス料金よりも高額な為
予算が増加した	ファクタリングサービスを採用したから。
予算が増加した	取引先企業が増加した為。
予算が増加した	定期的な調査と、新規顧客調査の為
予算が増加した	売上減少の得意先が多くなったことで調査費用が増えたと思われます。
予算が増加した	会社の方針として与信管理が厳しくなった為
予算が増加した	新規取引の増加
予算が増加した	御社との取引開設による
予算が増加した	吸収合併のため取引先が増加した
予算が増加した	保証料等の支出増
予算が増加した	情報の多様化に対応するため。
予算が増加した	取引先数が年々増加しているの。
予算が増加した	これまでよりも、与信管理に対して、積極的に情報収集にあたった為。
予算が増加した	与信管理を厳しくした
予算が増加した	保証先の増加
予算が増加した	新規取引先件数の増加
予算が増加した	取引先の増加を見込んでいるため
予算が増加した	調査費用の増加

	選んだ理由
予算が増加した	取引先企業の増加
予算が増加した	個人信用情報機関の照会件数の増加。
予算が増加した	調査書を前年以上に入手したため。
予算が増加した	新規取引先が増加したため

図表 E 2014 年度「RM会員アンケート調査」／予算の減少理由

	選んだ理由
予算が減少した	経費節減
予算が減少した	倒産が少ないため。
予算が減少した	費用対効果についての見直しのため
予算が減少した	リスクモンスター社の格付けをもとに限度額を設定しているため、管理精度が上がった
予算が減少した	与信保険額の見直し。
予算が減少した	金融庁の指導により金融機関の融資スタンスが緩和状態にあり、企業の倒産が少ない。
予算が減少した	コスト削減により競争力のある与信管理を目指して
予算が減少した	保険料率の低下による
予算が減少した	予算の有効活用
予算が減少した	与信保険において、安全であろう得意先への与信保険額を削った。
予算が減少した	景気が回復し、建設業の倒産が減少してきているから
予算が減少した	経費削減。
予算が減少した	事業規模の見直しにより取引先を見直した結果
予算が減少した	売掛金保証保険の料率低下。
予算が減少した	2013年度はポートフォリオの実施やe-管理ファイルの導入などに費用が掛かったが、2014年度はe管理ファイルの利用だけだから。
予算が減少した	取引信用保険の保険会社を変更した為
予算が減少した	新規開拓のための営業活動の縮小。既存顧客深耕営業へ切替のため。
予算が減少した	分社化による取引社数の大幅減。
予算が減少した	保険対象先の見直し
予算が減少した	TSR、帝国の調書が減った、リスモンでカバー
予算が減少した	ファクタリング経費の見直しに拠る。
予算が減少した	帝国DB調査から貴社へ変更
予算が減少した	新規取引件数が減った
予算が減少した	取引保証金額が変更となったため
予算が減少した	新規件数が減った
予算が減少した	サプライヤーからの、リース与信審査申込が減少すると思われるため。
予算が減少した	取引条件の見直しをしてリスクをある程度回避しているため。
予算が減少した	調査依頼が減った
予算が減少した	取引者数減少
予算が減少した	会社分割したため
予算が減少した	2013年度過剰使用のため
予算が減少した	経費削減
予算が減少した	売掛金の回収が順調に進んでいる。
予算が減少した	効率的な与信管理によるコスト削減を行うため。
予算が減少した	取引先データの取得方法を変更したため。
予算が減少した	2013年度はポートフォリオを初めて実施した。
予算が減少した	取引が減ったため
予算が減少した	リスクを下げずに運用改善。
予算が減少した	値下げ交渉で単価が下がったため
予算が減少した	2取引信用保険の料率低下
予算が減少した	要注意企業の業績が上向いている。懸念先の債権を減らす対策を打って債権を減らし
予算が減少した	与信管理システム更新の際、交渉を行った為。
予算が減少した	諸事情
予算が減少した	保険金額が下がったのと、e-管理ファイル登録をはずしたため。
予算が減少した	経費削減の為
予算が減少した	ファクタリングを実施する企業が減少したから
予算が減少した	3社あったが1社解約
予算が減少した	全体の予算削減のため
予算が減少した	親会社の意向
予算が減少した	コスト削減
予算が減少した	効率化によるもの。
予算が減少した	調査対象企業の減少
予算が減少した	取引信用保険付保客先への売上が減少する。
予算が減少した	特に無い